

第 39 回 兵庫教育大学大学院同窓会総会 全国研究大会【兵庫大会】 in Himeji

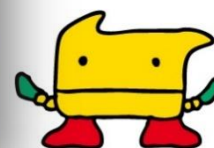
「新しい時代に創立の地で今後の教育とわたしたちの果たすべき役割について考える」



しろまるひめ



はぼたん



ひょうちゃん

主催 兵庫教育大学大学院同窓会
主管 兵庫教育大学大学院同窓会兵庫県支部
共催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会
後援 兵庫県・兵庫県教育委員会
会期 令和元年8月3日(土)・4日(日)
会場 姫路商工会議所 清交倶楽部
〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町 43
電話 079-281-6800

第39回 兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会【兵庫大会】 in Himeji

大会テーマ 「新しい時代に創立の地で今後の教育とわたしたちの果たすべき役割について考える」

主催 兵庫教育大学大学院同窓会
主管 兵庫教育大学大学院同窓会兵庫県支部
共催 兵庫教育大学学校教育学部同窓会
後援 兵庫県・兵庫県教育委員会
会期 令和元年8月3日（土）・4日（日）
会場 姫路商工会議所 清交倶楽部

〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町 43 電話：079-281-6800

日程

第1日目 8月3日（土）

12:00～ 受付
13:00～14:00 総会
14:00～14:50 兵庫大会開会行事、表彰式
15:00～16:00 記念講演会 [姫路市立城郭研究室 工藤茂博氏]
16:10～17:40 教育実践発表 [(Ⅰ) 山口偉一氏 (Ⅱ) 伊井直明氏]
17:40～18:00 記念写真撮影
18:10～20:30 教育懇話会(懇親会)

第2日目 8月4日（日）

<巡検> 責任担当：花畑一吉 090-4642-0015
8:40～9:10 受付 姫路城三の丸広場入り口
9:10～ 巡検 姫路城～好古園（歴史博物館）～昼食（イーグレ姫路）
13:00頃 解散 姫路駅

<ゴルフコンペ> 責任担当：横内 恵 090-2011-3194

会場 福崎東洋ゴルフ倶楽部
☎679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治 2110-1 ☎ 0790-22-1248

目次

総会次第	1
会長挨拶	2
総会議案	3
H30年度退任役員	19
全国研究大会次第	20
大会宣言	21
実行委員長挨拶	22
教育実践等に係る表彰者	23
記念講演会	24
教育実践発表	25
大学院修了生の活躍	27
大学基金への寄付のお願い	28

令和元年度 兵庫教育大学大学院同窓会総会

令和元年8月3日(土) 13:00～
於 姫路商工会議所 清交倶楽部

総会次第

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - 1号議案 令和元・2年度役員
 - 2号議案 平成30年度事業報告
 - 3号議案 第37期会計決算報告
 - 4号議案 令和元年度事業計画
 - 5号議案 第38期会計予算案
 - 6号議案 同窓会規約の一部改訂
4. 同窓会活動に係る感謝状贈呈
5. 第40回総会・全国研究大会【北海道大会】開催予告
6. その他
7. 閉会

大学院同窓会のさらなる発展を目指して

兵庫教育大学大学院 同窓会長 新居 寛

同窓生の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。会長の川村庸子さんがご勇退されることに伴い、同窓会会長として選出されました新居 寛（自然系 2 期）でございます。就任にあたり、ひとこと御挨拶申し上げます。

先ずは、同窓会の基礎を築いてくださった歴代会長はじめ役員の皆様のこれまでのご尽力に対しまして心から感謝申し上げます。私といたしましても、これまでの会長が築かれた基礎を大切にし、さらに同窓生にとっても、また母校にとっても同窓会が必要不可欠な存在となるよう、新役員一同心を一つにして同窓会を発展させて参る所存です。

早いもので、兵庫教育大学は昨年、開学 40 周年を迎えました。その間、日本の教育を代表する学術の専門性、実践において常に注目され、高い評価を受けてきました。資料にありますように、修了生の 7 割以上が、全国の教育現場で管理職や大学の教員となっており、まさに、兵庫教育大学大学院の修了生が日本の教育を支えているといっても過言ではありません。そして、新たな元号令和のスタートとともに教職大学院の先陣を切り、教育諸課題に関する難局を乗り越えるべく、教育のトップリーダーとしてさらに邁進しています。

同窓会といたしましても、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と社会貢献の一翼を担いたいと考えています。特に以下の四点に重点を置き、同窓会活動を推進していくつもりです。

まず、第一に、変化の激しい時代に柔軟に対応できる学び続ける同窓会、同窓生であるということです。第二に、大学に貢献できる同窓会であるために、毎年、全国大会を開催し、兵庫教育大の教育活動、教育推進を支援するとともに、大学の認知度をさらに高めることです。第三に、同窓生の中から立派な研究実践されている方を表彰し、活用することです。本日も、昨年度嬉野賞受賞者の伊井さんが発表してくださることになっております。そして、四点目は、会則や各部の動き、ブロック体制の見直しなどを含めて検討し、新たな指針と具体策を示して速やかに実行していくことで同窓会をさらに活性化していくことです。

しかし、これらの目標の達成は役員だけではできません。みなさまのお力添えが不可欠です。同窓生のみなさまにおかれましても、これまで以上に同窓会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただけますよう心からお願い申し上げます。

最後になりましたが、本日、ご公私ご多用の中、ご来賓として、井戸兵庫県知事様、清元姫路市長様、西上兵庫県教育長様、松田姫路市教育長様、歴代学長様にお越しいただきましたことに深く感謝申し上げます。どうぞ、我々兵庫教育大学大学院同窓会に、今後ともお力添えいただきたく存じます。

本日、明日の両日に渡る全国研究大会が成功裏に終わりますよう、ご協力よろしく願いいたします。これをもちまして、ご挨拶いたします。

令和元・2年度 兵庫教育大学大学院同窓会役員（案）

会 長	新居 寛（兵庫）				
副 会 長	専門部長代表 船本秀忠（兵庫）	ブロック長代表 渡邊哲郎（山口）	院生協代表 小椋伸人	事務局長 菅野恭介（兵庫）	
専門部長	組織部長 玉木 隆（岐阜）	総務部長 船本秀忠（兵庫）	研究部長 中尾豊喜（大阪）	会計部長 佐々木勇（岡山）	広報部長 大畑和典（広島）

監 事	監事長 北山鎮道（岡山）	監事 田中嘉明（兵庫）	監事 中園大三郎（大阪）	監事 毛利直巳（島根）
-----	-----------------	----------------	-----------------	----------------

相 談 役	武 泰稔（岡山）	酒巻成欣（大阪）	吉田 廣（兵庫）	山下 裕（広島）
	大橋 博（兵庫）	川村庸子（岩手）		

ブロック	理事				
	ブロック長	副ブロック長			
北海道・東北	小山文明（岩手）	永嶋啓一（福島）	棚澤 実（北海道）	千田健一（宮城）	村石好男（宮城）
関東	清水政義（東京）	松尾鉄城（埼玉）	荒井 豊（埼玉）	生駒義郎（埼玉）	野田不二夫（東京）
中部・東海 （組織部）	幸脇直久（岐阜）	梶原正史（山梨）	玉木 隆（岐阜）	森 社（岐阜）	杉田和一（福井）
			勝俣得男（静岡）	山田達夫（静岡）	
近畿① （総務部）	尾崎文雄（兵庫）	横内 恵（兵庫）	船本秀忠（兵庫）	竺沙敏彦（京都）	五百住満（兵庫）
			北村純一（兵庫）	岡みゆき（兵庫）	
近畿② （研究部）	雲井 稔（大阪）	芳村美佐子（大阪）	中尾豊喜（大阪）	徳永加代（大阪）	和田博之（大阪）
			井上温子（大阪）	村田卓生（大阪）	松田雅代（大阪）
近畿③ （研究部）	岸本秀章（奈良）	大前泰彦（和歌山）	山中賢司（奈良）	唐錦秀和（奈良）	西端幸信（和歌山）
東中国・四国 （会計部）	鷲見寛幸（鳥取）	野村ゆかり（高知）	佐々木勇（岡山）	藤原彰二（鳥取）	千葉照久（岡山）
			後藤陽三（愛媛）	門屋 浩（愛媛）	
西中国 （広報部）	渡邊哲郎（山口）	津田和也（広島）	大畑和典（広島）	藤原尚幸（島根）	勝田 章（島根）
			兼房高広（広島）	石川芳己（山口）	
九州・沖縄	草場聡宏（佐賀）	川尻 徳（福岡）	船津勇一（大分）	松川隆夫（沖縄）	

※青字は新任役員

支 部 代 表			
北海道	水野 和男	兵 庫	横内 恵
青 森	西澤 亨一		船本 秀忠
岩 手	山本 勉		菅野 恭介
宮 城	佐藤 司	大 阪	村田 卓生
秋 田	高橋 正規		井上 温子
山 形	本田 礼		和田 博之
福 島	永嶋 啓一	奈 良	山崎 誠
茨 城	吉田 重郎	和歌山	西端 幸信
栃 木	駒田 郁夫	鳥 取	藤原 彰二
群 馬	青木 雅夫	岡 山	千葉 照久
埼 玉	松尾 鉄城	徳 島	田村 明敏
千 葉	手塚 裕	香 川	野島 悟
東 京	野田不二夫	愛 媛	清田 公典
神奈川	児玉 祥一	高 知	野村ゆかり
新 潟	碓井 欣一	島 根	毛利 直巳
富 山	森山 義人	広 島	津田 和也
石 川	沼田 良一	山 口	石川 芳己
福 井	杉田 和一	福 岡	川尻 徳
山 梨	梶原 正史	佐 賀	草場 聡宏
長 野	猪瀬 洋一	長 崎	平戸 健吉
岐 阜	松村 敏幸	熊 本	八間川隆彦
静 岡	神尾 義敬	大 分	曾根崎 靖
愛 知	鈴木 均	宮 崎	米村 公俊
三 重	大森 雅彦	鹿児島	森山 勇
滋 賀	西谷 淳	沖 縄	松川 隆夫
京 都	大森 直也		

※明朝体は前ページ役員等との兼務

※青字は新任支部代表

平成30年度 専門部等事業報告

「*」を付した事業は事務局と連携して実施したもの

- 1 総務部
 - (1) 総会（H30.8.4～5 鳥取大会）の運営 *
 - (2) 役員会（H30.6.16, 8.4, 11.3, H31.5.18）の運営
 - (3) 義援金贈呈（H30.9.18）（愛媛、広島、岡山の各県支部に）
 - (4) 学位記授与式（昼夜間共 H31.3.23）及び入学式（昼夜間共 H31.4.3）に参列
 - (5) 院生連絡協議会総会（H30.6.6, 12.6）に出席 *
 - (6) 高知県支部旗揚げ式、教育リーダーコース研修会出席（H31.2.16～17）
 - (7) 役員旅費等総務関係収支管理 *
- 2 会計部
 - (1) 会計収支管理
 - (2) 会計予算案作成
 - (3) 会計決算処理及び監査事務（R1.5.18）*
 - (4) 入会案内及び入会事務（H31.2 入学手続, 他年間随時）*
- 3 研究部
 - (1) 教育実践研究誌「教職の先達」第4号発刊（H30.8.4, 5）
 - (2) 教育実践研究誌「教職の先達」第4号郵送（H30.8.11）
 - (3) 研究部会（H31.2.2）
 - (4) 兵庫教育大学附属図書館との協議（H31.3.29）*
 - (5) 研究部会（H31.4.27）
- 4 広報部
 - (1) 会報の発行に係る事務, 編集作業等
 - (2) 会報第43号発行（H31.3）
 - (3) 全修了生・在学院生に会報を配付（H31.4～）*
- 5 組織部
 - (1) 支部活動状況調査（H30.8月, H31.2月）*
 - (2) ブロック会議経費・支部活動助成金による活動支援 *
前期経費等配分委員会（H30.5.7） ブロック会議経費3件、支部活動助成金4件
後期経費等配分委員会（H30.10.9） 支部活動助成金2件
 - (3) 全支部に「各支部修了生名簿」を配付 *
 - (4) 同窓会総会・研究大会におけるアンケート実施
- 6 事務局
 - (1) 各専門部と連携して * を付した業務を推進
 - (2) 各種委員会の運営とまとめ
（予算配分委員会, 被表彰者選考委員会, 基本問題検討委員会）
 - (3) 「NEWS LETTER」第11号の発行
 - (4) Hyokyo-net Web の管理運営
- 7 兵庫教育大学都道府県連携推進本部との連携・協力
 - (1) 都道府県連携推進本部会議（H30.6.4, 9.7）に出席して意見交換
 - (2) 地域連携推進委員として連携（地方教育委員会等への大学の広報活動に協力）
 - (3) Hyokyo-net の活用と充実への協力（各支部からの掲載記事を掲載）
 - (4) 大学教員との共同研究（10件を採択）
 - (5) 教育実践研究活動等に係る表彰（嬉野賞3人, 奨励賞5人）
 - (6) 大学と同窓会役員と院生協役員の懇談会(H30.6.16, H31.2.23)出席・情報報交換
 - (7) 会員情報の収集と異動情報の更新, 住所不明者の探索

平成30年度 大学院同窓会活動報告

<総会・役員会、大学関連会議等>

※ 神戸HLC：神戸ハーバーランドキャンパス 加東C：加東キャンパス

実施日		活動内容
H30 6月	4日(月)	○都道府県連携推進本部会議 於：加東C (川村会長出席)
	16日(土)	○第1回役員会・三者懇談会・情報交換会 於：加東C
8月	4日(土)	○第38回兵庫教育大学大学院同窓会全国研究大会鳥取大会 於：ANAクラウンプラザホテル米子 総会・研究会・第2回役員会 講話：福田光完学長 記念講演：鳥取県知事 平井伸治先生
	5日(日)	○鳥取大会2日目:巡検 ①「日本遺産を訪ねる」コース ②「鬼太郎の町を訪ねる」コース
9月	7日(金)	○都道府県連携推進本部会議 於：加東C (川村会長出席)
10月	9日(火)	○予算配分委員会 (メール会議)
	14日(日)	○創立40周年記念式典 於：神戸ポートピアホテル
11月	3日(土)	○第3回役員会、役員選考委員会(予備会) 於：神戸HLC
12月	15日(土)	○第1回役員選考委員会 於：神戸HLC
H31 2月	23日(土)	○支部代表と役員との情報交換会 於：神戸HLC ○大学院同窓会都道府県連携推進会議 於：神戸HLC
	24日(日)	○第2回役員選考委員会 於：神戸HLC
3月	22日(金)	○学位記授与式・院生協謝恩会 於：加東C ○夜間学位記授与式 於：神戸HLC
4月	3日(水)	○大学院入学式・夜間入学式 於：加東Cおよび神戸HLC
R1 5月	13日(月)	○予算配分委員会 (メール会議)
	18日(土)	○定例監査及び第4回役員会 於：神戸HLC

<ブロック・支部活動関係>

実施日		ブロック活動	支部活動
H30 6月	7日(土)		○和歌山県支部役員会 於：アバローム紀の国
8月	16日(木)		○和歌山県支部総会 於：和歌山県 JA ビル
	18日(土)	○中部・東海ブロック大会 山梨県大会 於：勝山ふれあいセンター	
	19日(日)	○大阪府・奈良県・和歌山県 3支部合同夏季研修会 於：和歌山県 JA ビル	○和歌山県支部総会 於：和歌山県 JA ビル
	25日(土)		○兵庫県支部(のじぎく会)役員会 於：六甲荘
11月	3日(土)		○北海道支部総会・研修会 於：ホテルライフオーソ札幌
	23日(祝)	○関東ブロック研修会 於：川越市	
12月	22日(土)		○兵庫県支部(のじぎく会)役員会 於：姫路商工会議所
H31 1月	23日(土)		○兵庫県支部(のじぎく会)役員会 於：ホテルヴィスキオ尼崎
2月	17日(金)		○高知県支部研修会 於：越知町民会館

兵庫教育大学大学院同窓会 第37期会計決算報告書

自 平成30年6月1日 ~ 至 令和元年5月31日

(収入の部)

科目	予算額	決算額	増減	摘要
会費	3,900,000	4,167,964	267,964	
繰越	1,205,979	1,205,979	0	
売上金	0	17,800	17,800	教職の先達
雑収入	57	23	△ 34	預金利息等
合計	5,106,036	5,391,766	285,730	

(支出の部)

款	項	目	予算額	37期決算額	増減
総務部	役員会費	渉外費	1,150,000	949,000	201,000
		需用費	2,000	216	1,784
	事務費	通信費	0	0	0
		旅費	0	0	0
		会議費	0	0	0
会計部	事務費	需用費	7,000	2,282	4,718
		通信費	10,000	11,184	△ 1,184
		旅費	9,000	745	8,255
		会議費	0	0	0
研究部	印刷製本費	実践研究費	600,000	620,820	△ 20,820
		需用費	35,000	18,703	16,297
	事務費	通信費	20,000	31,280	△ 11,280
		旅費	20,000	7,440	12,560
		会議費	10,000	1,768	8,232
広報部	会報印刷費	印刷費	255,000	257,688	△ 2,688
		需用費	500	645	△ 145
	事務費	通信費	2,500	1,340	1,160
		旅費	1,000	0	1,000
		会議費	1,000	0	1,000

款	項	目	予算額	37期決算額	増減
組織部	活動推進費	ブロック会議経費	405,000	217,335	187,665
		支部活動助成金	200,000	42,151	157,849
	事務費	需用費	200,000	175,184	24,816
		通信費	0	0	0
		旅費	5,000	0	5,000
		会議費	0	0	0
事務局費	渉外費	渉外費	600,000	534,202	65,798
	印刷費	同窓会冊子印刷費	30,000	43,840	△ 13,840
	旅費	会議出席交通費	100,000	90,720	9,280
	事務費	需用費	400,000	308,370	91,630
		通信費	50,000	48,755	1,245
		旅費	0	11,000	△ 11,000
		会議費	0	0	0
		会議費	20,000	31,517	△ 11,517
総会運営費			500,000	500,000	0
院生協活動助成費			100,000	100,000	0
寄付金「兵庫教育大学同窓会研究助成金」			1,000,000	999,568	432
小 計			4,728,000	4,254,316	473,684
予備費			378,036	400,000	△ 21,964
	繰越金他		378,036	400,000	△ 21,964
合 計			5,106,036	4,654,316	451,720

○予備費の内訳は西日本豪雨災害見舞金 300,000 円、40 周年記念寄付 100,000 円です。
○収入決算合計 5,391,766 円 支出決算合計 4,654,316 円 差引 737,450 円
差引残高の 737,450 円は、第 38 期会計の収入（繰越金）に充てます。
○兵庫教育大学大学院同窓会積立金は次のとおりです。
定額預金 10,190,000 円 平成 29 年 6 月 5 日預入（定額預金 10 年満期）

以上報告いたします。
令和元年 5 月 31 日

兵庫教育大学大学院同窓会 会 長 川村 庸子
同 会計部長 佐々木 勇

監 査 報 告

上記の第 37 期会計決算報告並びに運営積立金会計を監査した結果、正確であることを認めます。
令和元年 5 月 31 日

兵庫教育大学大学院同窓会 監 事 長 北山 鎮道
同 監 事 田中 嘉明
同 監 事 玉木 隆

令和元年度 兵庫教育大学大学院同窓会事業計画（案）

<全体行事・専門部等事業> 神戸HLC：神戸ハーバーランドキャンパス 加東C：加東キャンパス

年 月 日		事業内容
R1. 6月	5(水) 中旬 中旬 15(土)	院生協R1前期総会（会長来賓出席） 第37期会計決算報告（案）作成＝会計部 第38期会計予算（案）作成＝会計部 定例役員会（加東C）
7月	中～下旬	新入生へ支部活動参加依頼送付
8月	3(土) 4(日) 上～中旬 上～中旬	本部役員会（姫路商工会議所 清交倶楽部） 第39回総会・全国研究大会【兵庫大会】（姫路商工会議所 清交倶楽部） ・講演会・実践発表会・情報交換会 ・参加者アンケートの実施＝組織部 ・巡検：姫路城周辺見学コース ・兵庫大会記念ゴルフコンペ（福崎東洋ゴルフ倶楽部） 支部活動状況調査＝組織部 会報編集計画，記事収集＝広報部 実践研究誌(第5号以降)改変計画＝研究部
9月	上～中旬 30(月)	企画会議①＝研究部 ブロック会議経費及び支部活動助成金申請期限（R1年度後期）
10月	中旬	ブロック会議経費等予算配分委員会
11月	2(土) 中旬	本部役員会（神戸HLC） 企画会議②＝研究部
12月	上旬	院生協R1後期総会（会長来賓出席）
R2. 1月	上旬	「同窓会入会案内」冊子作成
2月	中旬 中～下旬	R1支部会員名簿を各支部に配布 実践研究誌進捗状況報告＝研究部 支部活動状況調査＝組織部 会報編集会議＝広報部
3月	23(月) 中旬	学位記授与式・謝恩会/会長来賓出席 同窓会報第44号発行＝広報部
4月	初旬 中～下旬 下旬 30(木)	入学式・新入生歓迎会/会長来賓出席 被表彰者選考委員会 編集委員会＝研究部 ブロック会議経費及び支部活動助成金申請期限（R2年度前期）
5月	中旬 中旬 16(土)	ブロック会議経費等配分委員会 第40回同窓会総会・全国研究会 北海道大会の案内送付 第38期会計監査 本部役員会（神戸HLC） 被表彰者選考他

<大学との連携事業>

実施予定日		事業内容
R1. 6月	中旬 15(土)	大学院同窓会研究助成金の採択事務 大学と大学院同窓会役員と院生協役員との懇談会（加東C） 情報交換会（大学会館食堂）
8月	3(土)	令和元年度教育実践研究活動等表彰式 （大学院同窓会全国研究大会【兵庫大会】会場）
R2. 2月	中旬～ 22(土)	入学手続き者に「同窓会入会案内」送付 大学院同窓会都道府県連携推進会議（神戸HLC），情報交換会
3月	31(火)	教育実践研究活動等被表彰者推薦書及び教育実践研究論文の提出期限
4月	30(木)	R2 教育実践研究活動等被表彰者推薦書及び教育実践研究論文の提出期限
5月	下旬	全同窓生に大学情報資料を送付して広報活動協力を依頼 共同研究選定委員会

その他

- ①専門部会は随時開催する。
- ②支部会員連絡ツールとしてHyokyo-netの支部ページ等を活用する。
- ③会員情報は都道府県連携推進本部で管理する。
- ④会員情報の変更はHyokyo-netやメール（office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp）で常時受け付けている。
- ⑤支部は都道府県連携推進本部と協力し、会員の不明情報（支部は一覧を保持）の補完に努める。

兵庫教育大学大学院同窓会 第38期会計予算（案）

自 令和元年6月1日 ～ 至 令和2年5月31日

（収入の部）

科目	37期決算額	予算額	摘要
会費	4,167,964	3,900,000	15,000×260名
繰越	1,205,979	737,450	
売上金	17,800	0	
雑収入	23	0	
合計	5,391,766	4,637,450	

（支出の部）

款	項	目	37期決算額	予算額	備考
総務部	役員会費	渉外費	949,216	1,005,000	
		役員会費	949,000	1,000,000	
	事務費	需用費	216	5,000	
		通信費	0	0	
		旅費	0	0	
会議費	0	0			
会計部	事務費	需用費	14,311	20,000	
		通信費	2,282	5,000	
		旅費	11,184	13,000	
		会議費	745	2,000	
研究部	印刷製本費	実践研究費	680,011	45,000	
		印刷製本費	620,820	0	
	事務費	需用費	18,703	10,000	
		通信費	31,280	15,000	
		旅費	7,440	15,000	
会議費	1,768	5,000			
広報部	会報印刷費	印刷費	259,673	265,000	
		会報印刷費	257,688	260,000	
	事務費	需用費	645	500	
		通信費	1,340	2,500	
		旅費	0	1,000	
会議費	0	1,000			

款	項	目	37期決算額	予算額	備考
			217,335	405,000	
組織部	活動推進費	ブロック活動経費	42,151	200,000	
		支部活動助成金	175,184	200,000	
	事務費	需用費	0	0	
		通信費	0	5,000	
		旅費	0	0	
		会議費	0	0	
			534,202	350,000	
事務局費	渉外費	渉外費	43,840	10,000	
	印刷費	同窓会冊子印刷費	90,720	100,000	
	旅費	会議出席交通費	308,370	80,000	
	事務費	需用費	48,755	120,000	
		通信費	11,000	10,000	
		旅費	0	0	
		会議費	31,517	30,000	
総会運営費			500,000	500,000	
院生協活動助成費			100,000	100,000	
寄付金「兵庫教育大学同窓会研究助成金」			999,568	1,000,000	
小 計			4,254,316	3,690,000	
予備費			400,000	947,450	
	繰越金他		400,000	947,450	
合 計			4,654,316	4,637,450	

上記のとおり提案します。

令和元年 8 月 3 日

兵庫教育大学大学院同窓会
同

会 長 新居 寛
会計部長 佐々木 勇

兵庫教育大学大学院同窓会会則（改正案）

（昭和 57 年 2 月 24 日制定）

第 1 章 総 則

第 1 条 この会は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「本会」という。）と称する。

第 2 条 本会は会員相互の親睦を図るとともに、大学との連携を推進して、学校教育に関する諸問題について意見を交流することを目的とする。

第 3 条 本会は前条の目的を達成するための次の事業を行う。

- 1 総会及び研究会の開催
- 2 会報等の発行
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

第 2 章 会 員

第 4 条 本会の会員は次のとおりとする。

- 1 正会員
- 2 特別会員

第 5 条 正会員は兵庫教育大学大学院修了者及び在学者とする。

第 6 条 特別会員は兵庫教育大学に在職又は在職した教職員とする。

第 3 章 役 員

第 7 条 本会に次の役員を置く。

- 1 相談役 若干名
- 2 会長 1 名
- 3 副会長 3 名（別に院生協代表者 1 名）
- 4 専門部長 各部 1 名
- 5 ブロック長 各ブロック 1 名
- 6 副ブロック長 各ブロック 1 名
- 7 理事 若干名
- 8 監事 若干名（内 1 名を監事長とする。）
- 9 支部代表 各支部 1 名

第 8 条 役員の仕事は次のとおりとする。

- 1 相談役 会務全般の相談に応じる。
- 2 会長 本会を代表し会務を掌理する。
- 3 副会長 会長を補佐する。
- 4 専門部長 本会の運営にあたり、専門部の会務を司る。
- 5 ブロック長 ブロック内支部間の調整を図り、ブロックの会務を司る。
- 6 副ブロック長 ブロック長を補佐する。
- 7 理事 本会の運営にあたる。
- 8 監事 本会の会計及び事業を監査する。
- 9 支部代表 支部の会務を司る。

第 9 条 役員を選出方法は次のとおりとする。

- 1 第 7 条第 1 項から第 8 項の各役員は、役員選考委員会で選考し、総会において承認する。
- 2 支部代表は、各都道府県支部において選出する。支部代表選出に関し必要な事項は、別に定める。

第 10 条 役員の仕事は、2 年とする。

ただし、欠員を生じた場合の後任の役員の仕事は、前任者の仕事の残余の期間とする。

- 2 前項の規定による役員は、再任されることができる。
- 3 会長については、3 期（6 年）を上限とする。

第4章 役員選考委員会

第11条 役員選考委員は、役員の中から選出する。同選考委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第5章 顧問

第12条 本会に顧問を置くことができる。

第13条 顧問は特別会員の中から若干名を会長が委嘱する。

第14条 顧問は会務に関し会長の諮問に応ずる。

第6章 会議

第15条 総会は正会員をもって構成し本会の重要事項を審議・議決する。

2 総会が開催できない場合は、役員会での審議・議決をもって総会の審議・議決に代えることができる。ただし、以後の総会で報告しなければならない。

第16条 役員会は第7条に規定する役員をもって構成し、本会の重要事項を審議する。

第17条 本部役員会は、第7条に規定する役員のうち、会長、副会長、専門部長、ブロック長、副ブロック長（ただし、専門部を設置していない4ブロック）及び監事長をもって構成する。

2 本会の重要事項に関して審議し、企画・運営の調整を図るものとする。

第18条 議事はすべて出席者の過半数をもって決する。

第7章 専門部

第19条 第3条に規定する事業を実施するため、専門部を置く。

2 専門部の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 ブロック・都道府県支部・部会

第20条 本会はブロックを置く。

第21条 本会は都道府県に支部を置く。

第22条 本会は専攻コースに部会を置く。

第23条 ブロック・支部・部会に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 会計

第24条 本会の経費は会費及びその他の収入をもって充てる。

第25条 正会員は入会時に会費として1万5千円を納める。ただし、納入された会費は返還しない。

第26条 本会の会計は一般会計と特別会計（総会会計）とする。

第27条 本会の会計年度は毎年6月1日に始まり、翌年の5月31日に終わる。

第10章 雑則

第28条 本会則の変更は総会の決議による。

第29条 本会の運営に関し必要な事項は役員会が別に定め、総会に報告する。

第30条 本会の事務局を兵庫教育大学におき、事務局長が事務を統括する。

附 則 本会則は、昭和57年2月24日に制定する。

中略

平成25年8月3日に改正し、平成25年6月1日から適用する。

” 26年8月9日改正

令和元年8月3日改正

兵庫教育大学大学院同窓会専門部運営に関する細則

(平成 25 年 8 月 3 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 19 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(専門部)

第 2 条 本会に次の専門部を設ける。

- 1 総務部
- 2 会計部
- 3 研究部
- 4 広報部
- 5 組織部

(専門部の構成・担当ブロック)

第 3 条 各専門部は、部長と理事により構成する。

2 専門部の担当ブロックは、原則として、次のとおりとする。

- (1) 総務部 近畿①ブロック
(滋賀県, 京都府, 兵庫県)
- (2) 会計部 東中国・四国ブロック
(鳥取県, 岡山県, 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県)
- (3) 研究部 近畿②・近畿③ブロック
(大阪府, 奈良県, 和歌山県)
- (4) 広報部 西中国ブロック
(島根県, 広島県, 山口県)
- (5) 組織部 中部・東海ブロック
(新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 山梨県, 長野県, 岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県)

(専門部の役割)

第 4 条 本会の目的を達成するため、次の役割を担って専門部会の活動を行う。

- 1 総務部 会務に関する一般事務並びに総会及び諸会議の開催事務に関すること。
- 2 会計部 会計事務に関すること。
- 3 研究部 学校教育の諸問題を主題とした研究会及び研究上の情報交換に関すること。
- 4 広報部 会報の編集及び発行に関すること。
- 5 組織部 組織の整備に関すること。

兵庫教育大学大学院同窓会ブロック組織に関する細則

(平成 24 年 7 月 28 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下「同窓会」という。）会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 23 条の規定に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

(ブロック)

第 2 条 同窓会は、組織の単位として、次の各号に掲げるブロックを置く。

- (1) 北海道・東北ブロック
北海道，青森県，岩手県，宮城県，秋田県，山形県，福島県
- (2) 関東ブロック
茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県
- (3) 中部・東海ブロック
新潟県，富山県，石川県，福井県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県
- (4) 近畿①ブロック
滋賀県，京都府，兵庫県
- (5) 近畿②ブロック
大阪府
- (6) 近畿③ブロック
奈良県，和歌山県
- (7) 東中国・四国ブロック
鳥取県，岡山県，徳島県，香川県，愛媛県，高知県
- (8) 西中国ブロック
島根県，広島県，山口県
- (9) 九州・沖縄ブロック
福岡県，佐賀県，長崎県，熊本県，大分県，宮崎県，鹿児島県，沖縄県

(ブロック長及び副ブロック長)

第 3 条 各ブロックにブロック長を 1 人及び副ブロック長を 1 人置き、同窓会理事の中から、役員選考委員会において選考する。

2 ブロック長は、次の各号に掲げる任務を行う。

- (1) 各ブロック内での活動の統括・連携及び連絡調整に関すること。
- (2) 各ブロック内での支部の活性化及び支部の支援に関すること。
- (3) 各ブロックとの連携に関すること。
- (4) その他各ブロックに関すること。

3 副ブロック長は、ブロック長を補佐する。

(代表ブロック長)

第 4 条 同窓会長は、ブロック長の中から代表ブロック長を指名する。

2 代表ブロック長は、各ブロック長との連絡調整を行う。

附 則 本規則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

支部代表選出に関する細則

(昭和 59 年 8 月 24 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は、兵庫教育大学大学院同窓会（以下同窓会という）会則（昭和 57 年 2 月 24 日より施行）第 9 条第 2 号の規定に基づき、支部代表の選出について必要な事項を定めることを目的とする。

(選出方法)

第 2 条 支部代表の選出方法は次のとおりとする。

- 1 各都道府県支部において、それぞれ 1 名を選出する。
- 2 大阪府支部及び兵庫県支部においては、支部の必要に応じて支部代表を 3 名まで選出できる。
- 3 各支部は、選出した支部代表名を総会までに同窓会事務局へ報告する。報告がない場合は前任者の留任とみなす。

附 則 本細則は平成 9 年 8 月 23 日改正

本細則は平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

役員選考委員会運営細則

(昭和 58 年 8 月 27 日制定)

(目的)

第 1 条 この細則は兵庫教育大学大学院同窓会会則（昭和 57 年 2 月 24 日制定）第 11 条の規定に基づき、役員選考委員会の運営について必要な事項を定めることを目的とする。

(任務)

第 2 条 役員選考委員会は次期役員を選考し、役員会です承を得た後、総会に報告することを任務とする。

(役員選考委員の選出)

第 3 条 役員選考委員は、役員の中から若干名を互選する。

附 則 本細則は、平成 25 年 8 月 3 日に改正し、平成 25 年 6 月 1 日から適用する。

平成30年度 退任役員

長年にわたり同窓会役員をお務めいただき、本会の発展にご尽力くださいました次の方々が、平成30年度末をもって役員を退かれました。本部活動はもとより、支部活動の牽引役としてその功績は非常に大きいものです。これまでのご貢献に深く感謝の意を表します。

また、一定の要件を満たされた方には感謝状と記念品をお贈りいたします。

氏名	支部	コース	期	退任時の役職
遠藤 茂	宮城	生活・健康系	7	ブロック長
槽谷 文夫	宮城	教育基礎	7	理事
大畑 健実	静岡	社会系	11	理事
小林由美子	愛知	生徒指導	10	副ブロック長
田端 孝司	京都	自然系（理科）	9	理事
長井 勘治	大阪	教育経営	19	副ブロック長
白井 洋	兵庫	生徒指導	5	副会長 事務局長
山本 紀代	和歌山	自然系（数学）	13	副会長 ブロック長代表
金兒 利明	鳥取	社会系	3	副ブロック長
早川 求	島根	社会系	2	監事
佐野 薫	岡山	社会系	25	理事
市川 博登	広島	芸術系（美術）	15	理事
岩田 進	島根	言語系（国語）	1	支部代表



令和元年度

兵庫教育大学大学院同窓会 全国研究大会

令和元年 8月3日(土)・4日(日)
於 姫路商工会議所 清交倶楽部 他

大会次第

第1日目 8月3日(土)

1. 開会行事 14:00～
 - (1) 大会宣言
 - (2) 主催者挨拶
 - (3) 来賓挨拶・来賓紹介
 - (4) 教育実践活動等に係る表彰
2. 記念講演会 15:00～

「歴史資料からみた姫路城」 ～知られざる姫路城の秘密に迫る～
講師：姫路市立城郭研究室 工藤茂博 氏
3. 教育実践発表 16:10～
 - (I) 「姫路市の小中一貫教育の歩みと展望」
～推進モデル校 白鷺小中学校を中核として～
発表者：姫路市立白鷺小中学校 校長 山口偉一 氏
 - (II) 「在外教育施設の運営とその充実に向けて」
～バンコク日本人学校・ローリー補習授業校の実践から～
発表者：平成30年度嬉野賞受賞者 伊井直明 氏
4. 記念写真撮影 17:40～
5. 教育懇話会(懇親会) 18:10～

第2日目 8月4日(日)

<巡検>

- 受付 8:40 姫路城三の丸広場入り口
出発 9:10 姫路城～好古園(歴史博物館)
～昼食(イーグレ姫路)
解散 13:00頃 姫路駅解散

<ゴルフコンペ>

会場 福崎東洋ゴルフ倶楽部(現地集合・現地解散)

☎679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治 2110-1

☎ 0790-22-1248



大会宣言

第39回兵庫教育大学大学院同窓会総会・全国研究大会において、本学の建学の精神に基づく、日本の教育に資すべき使命と誇りの自覚を確認し、公・民を問わずあらゆる教育分野で貢献したいと願い大会宣言を行う。

- 一 常に会員は、教師教育のトップランナーであるという自信と誇りを持ち、自ら主体的に学び、自らつくり、自ら身につける「学進研道」を生きる。
- 一 常に会員は、未来の主権者たちが主体的・協働的に自らの資質・能力を伸ばす教育を探究する。
- 一 常に会員は、母校である兵庫教育大学のさらなる充実・発展を願い、積極的に貢献する。

以上をもって、兵庫教育大学、そして、本同窓会のますますの弥栄を祈念して大会宣言とする。

令和元年8月3日

大会宣言者

第39期 理数系教育コース 満田 芽生

新たな教育の創生を

兵庫大会実行委員長 尾崎 文雄

平成が終わり令和時代が始まりました。新天皇が即位され明るい話題に溢れる一方、我が国は現在、多くの課題を抱えています。毎年人口が減少し、同時に少子高齢化が急激に進んでいます。18歳人口は現在の118万人が、2040年度は推計88万人まで減少します。学校の統廃合はもはや避けて通れない問題ですし、教育という分野自体が縮小していくとも予想されています。

人工知能AIの開発が急速に進み、「今後10～20年後には約47%の仕事が自動化される可能性が高い」とする予測もあります。国立情報学研究所の新井紀子教授は中高生の読解力不足を指摘し、「今後AIに仕事が奪われ恐慌が起きるのに、多くの人々は新たに生まれる労働市場に入っていけない」と、未来を悲観的に予想しています。

昨年3月、高等学校の新学習指導要領が告示され、これからの時代の教育の姿が示されました。新学習指導要領では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を、①「知識・技能」の習得、②「思考力・判断力・表現力等」の育成、③「学びに向かう力・人間性等」の涵養、の三つの柱に整理し、各教科等の目標及び内容が再整理されました。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（アクティブ・ラーニングの視点に立った授業改善）についても明記されました。今、教育現場では、教育改革の推進が強く求められているのです。

私たちの母校である兵庫教育大学は新構想の教育大学として昭和53年10月に創立され、昨年40周年の節目を迎えました。これまでの大学院修了生は1万人を越え、全国各地の学校や教育機関等で実践的リーダーとして活躍しています。教育が激変する今、私たちの役割は益々高まっています。新しい令和の時代に、大学創立の地兵庫県にて全国大会を開催することで、今後の教育と私たちの果たすべき役割について考え、ともに教育創生の情熱を一層高めたいと思います。

令和元年度 教育実践研究活動等に係る受賞者

本表彰は平成 22 年から実施しています。兵庫教育大学大学院学校教育研究科の修了生本人または構成員とする団体の教育実践研究活動等における顕著な成果や功績に対して、学長と同窓会長の連名で表彰を行うものです。本年度は次の 5 名が受賞されました。

特別賞

氏名	教育実践研究活動	専攻・コース・期
大橋 博	日本を代表する教育者・教育実業家 第 5 代大学院同窓会会長 ＜主な功績および役職＞ 学校法人創志学園理事長 兵庫教育大学学長選考委員 創造学園、環太平洋大学、クラーク記念国際高校、創志学園等を創設し、日本の教育に大きな影響を与えている。	学校教育専攻 教育経営コース 20 期

嬉野賞

氏名	教育実践研究活動	専攻・コース・期
大槻 雅俊	教育研究活動や社会貢献を通して後進を指導 元大学院同窓会副会長 ＜主な功績および役職＞ 大阪成蹊短期大学教授 大阪市立小学校長、国際理解教育部長、兵庫教育大学 E.D.Seminar 代表等を歴任し、社会科教育等の分野において、教育実践を通じた理論研究を推進した。	教科・領域教育専攻 社会系コース 3 期
川崎 聡大	本大学出身の新進気鋭の研究者 ＜主な功績および役職＞ 東北大学准教授（大学院教育学研究科教育心理学講座） 障害児教育を中心に幅広い分野での研究をしている。 全国各地で講演会・研修会の講師をつとめている。日本の障害児教育や心理学に偉大な功績を残している。	障害児教育専攻 15 期

奨励賞（論文賞）

氏名	論文のテーマ	専攻・コース・期
丹後 政俊	学校教育における冒険教育の効果と課題 ～ささやま冒険教育の実践を中心として～	教科・領域教育専攻 社会系コース 10 期
河合 信之	概念変換を促すワークシートの考案と効果の実証的研究 ～力と運動における素朴概念を事例として～	教育内容・方法専攻 認識形成系教育コース 34 期

記念講演

演題 「歴史資料から見た姫路城」～知られざる姫路城の秘密に迫る～

講師 姫路市立城郭研究室 工藤 茂博 氏

工藤茂博氏は、所さんの目がテン、林修のニッポンドリル、ぶっちゃけ寺&Qさま！！
など様々な番組で姫路城の魅力を紹介されています。



<メモ>

教育実践発表（Ⅰ）

「姫路市の小中一貫教育の歩みと展望」
～推進モデル校 白鷺小中学校を中核として～

発表者：姫路市立白鷺小中学校

校長 山口 偉一 氏



<メモ>

教育実践発表（Ⅱ）

「在外教育施設の運営とその充実に向けて」

～バンコク日本人学校

・ローリー補習授業校の実践から～

発表者：平成 30 年度嬉野賞受賞者

伊井 直明 氏



<メモ>

Topics

大学院修了生の活躍

大学院修了生の7割以上が学校管理職や大学教員に！！

兵庫教育大学大学院の修了生がどの程度、地域や日本の教育界でリーダー的な役割を果たしているかを知るために、退職された時点での役職を調べてみました。すると、以下の表のように、報告をいただいている方の7割以上の方が、学校の管理職や大学の教員などを歴任されていました。これは全体の平均から考えると驚くほど高い割合です。兵庫教育大学大学院が「教師教育のトップランナー」としての役割を見事に果たしていることがわかりました。

兵庫教育大学大学院修了生における管理職等の状況

修了生の 退職年度	報告者数	管理職等の状況			報告者数に 占める割合
		校長等 管理職	大学教員	計	
平成 30 年度	233 人	136 人	27 人	163 人	70.0%
平成 29 年度	200 人	118 人	24 人	142 人	71.0%
平成 28 年度	193 人	106 人	30 人	136 人	70.5%

未来の教育が ここから生まれる。



兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也

<兵庫教育大学基金へのご支援のお願い>

同窓会のみならず、日頃から兵庫教育大学の教育研究に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、これまでに兵庫教育大学基金へ多くのご寄附をいただき、改めて感謝いたします。

この基金により、既に多くの学生が海外派遣プログラムや地域貢献プログラムへの参加を実現しています。これからも、教職員一同、学生の修学支援や教育環境の更なる充実に取り組んでいく所存でございます。今後とも、本基金の趣旨をご理解いただき、格別のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

兵庫教育大学基金の活用事例

グローバル化推進事業 アジア文化研修プログラム（ベトナム）

ベトナム・バリアンタウ教員養成大学にて、学校教育や日本語を学ぶ現地学生と交流し、ベトナムの小学校などの学校教育現場を訪問するほか、中国・フランスなどの文化的影響を受けながらも独特の発展を遂げてきた南ベトナムの人々の暮らしと文化を体験しています。



参加した学生の声

5 日間の研修もあっという間に感じるほど、非常に充実したものになりました。ベトナムの学校現場に触れ、現職の教員と話す機会をもてたことは、今後の教師人生においても大きな糧になると確信しています。今は、自分が見て感じたことを日本にいる子どもたちや先生方に伝えたいという強い気持ちでいっぱいです。

※寄付の方法については、別紙ご案内、または大学ホームページをご覧ください。

あとがき

同窓生、関係者の皆さま、遠路はるばる、お忙しい中、第39回 兵庫教育大学 大学院同窓会総会、および、全国研究大会に姫路までお越しくださり、誠にありがとうございます。

十分なおもてなしができたかどうか心配な面もありますが、大学の地元兵庫県での開催ということで、実行委員一同頑張ってまいりました。大会記念ゴルフコンペなど、これまでにない斬新な企画も考えました。これを機に同窓生が一丸となり、兵庫教育大学の益々のご発展のために協力できればありがたいと存じます。

また、井戸兵庫県知事様、清元姫路市長様をはじめ、多数のご来賓の皆さまにご出席いただきましたことに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後になりましたが、本大会を開催するにあたり、準備から当日の運営まで熱心にご協力いただきました大学院同窓会役員の皆さま、兵庫支部の皆さま、会場を提供していただきました姫路商工会議所の皆さまに厚く感謝申し上げ、あとがきとさせていただきます。

兵庫教育大学大学院同窓会 兵庫県支部（のじぎく会）
会長 船本 秀忠



春の姫路城



天空の城 竹田城址



兵庫教育大学大学院同窓会事務局

〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1

電話 0795-44-2406 2375

F A X 0795-44-2376

E-mail office-dosokai@ml.hyogo-u.ac.jp